

地域からの介護人材参入促進事業(中間報告)

参考資料3

- 趣旨 介護福祉士養成校の学生等と連携した地域住民等への介護の仕事の魅力発信により、地域からの介護人材の掘り起こしや参入促進を図る。
- 内容 (1)地域住民等へ出前講座
(2)介護に対する入門的研修の実施等からマッチングまでの一体的支援研究

これまでの経過

令和3年度から3年間 呉羽地域

「地域での介護の仕事魅力アップ推進研究モデル事業」

「正しく知ろう」「応援しよう」「無理せず参加しよう」

地域を基盤に包括的なプログラムを展開

→介護に関するイメージが良い人 地域のつながりの大切と思う人 が増加

「介護の仕事の魅力」の理解やその人らしく生活できる地域共生社会・Well-beingなまちづくりの地域文化醸成の足掛かり



令和6年度から 富山市西及び北保健センターエリアへ拡大

「地域からの介護人材参入促進事業」

令和7年度から 十大山・大沢野保健福祉センターエリア、立山町・上市町(舟橋村含む)

キーワード
貢献寿命×Well-being

- ・厚生労働省HPで紹介 「介護人材採用に向けた事例集」PwCコンサルティング株式会社
- ・社会保障審議会:福祉部会福祉人材確保専門委員会(5/9,6/9,8/29,10/20,11/10)
介護保険部会(5/19,6/2,7/28)

誰もが長く元気に活躍できる社会

×

障害があっても、認知症や介護が必要になってもよりよく生きることができるWell-beingなまちを目指して

正しく知ろう！

応援しよう！

無理せず参加しよう！

(1) 町内・サークルでの勉強会(出前講座)

会場：町内の公民館、小学校等
 内容：老化やフレイル、介護予防
 認知症の理解、障害の理解
 介護の仕事とその魅力
 Well-beingなまちづくり、地域共生他
 講師：富山短期大学教職員、学生、卒業生等

学生・卒業生による魅力発信
(広がるチューリップ)



がんばれ
新社会人



多様な就労・社会参加



ヤングケアラー

ひきこもり

弱さや生きづらさを抱えた人も
「共に」生きていくことができる
思いやりにみちた地域



介護のプロや家族、ご近所や友人・知人に支えられ

(2) ウェルビーイング介護サポーター養成講座

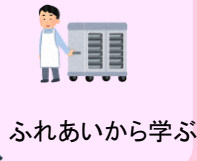
会場：富山市：北、西、大沢野、大山保健福祉センターエリア、
 中新川（立山町、上市町（舟橋）業務体験は、地域の介護保険施設等
 内容：介護保険制度の概要、尊厳について、老化の理解、障害の理解、認知症の理解
 介護の基本、生活支援技術、安全の確保等
 講師：富山短期大学教員、施設職員等

① 初級・基礎講座(3H)

講義から学ぶ



② 中級・業務体験(3日間)



ふれあいから学ぶ

③ 上級・入門講座(18H)

基礎知識・技術を
分野ごとに学ぶ



応援団



ボランティア



活躍の場

介護助手



介護職



I 町内・サークルでの勉強会(出前講座)

学生や卒業生が身近な地域の出前講座に参加し、介護の仕事への理解を図る

取組

○出前講座の実施(予定)

- 特徴①少人数で膝を交えた勉強会
②学生、卒業生が参加

○キーワードは 貢献寿命とWell-being 介護ロボット

	地域住民等	小学校
回数	48回	5回
担当	卒業生	学生
キーワード	貢献寿命×Well-being	介護ロボット

53会場
2175人が
参加予定

貢献寿命とは
社会とつながり、
役割を持ち、誰かの
役に立つ、感謝され
るといった関わりを
持ち続けられる
人生期間
秋山弘子先生



成果

○関係団体と養成校のつながり促進 ○参加者の介護のイメージの変化等

＜地域住民＞ ※12月末までを集計のため概数

- ・地域のつながりが大切に思う 90.8%
- ・介護の仕事のイメージが良い 77.5%
- ・介護の仕事の関心が高まった 75.9%
- ・介護に関わっている人を応援 77.2%
- ・声がかかったらできる範囲で協力 71.6%

＜小学生＞

- ・介護の仕事を理解できた 99.2%
- ・介護の仕事のイメージが良い 99.2%
- ・介護の仕事に興味をもった 93.1%
- ・介護の魅力が伝わった 98.5%
- ・介護の仕事をやってみたいと思う 82.3%

○学生、卒業生(広がるチューリップ)の結成



広がるチューリップの活動



○活動内容 介護の魅力を富山県全体に広げる活動

○名前の由来

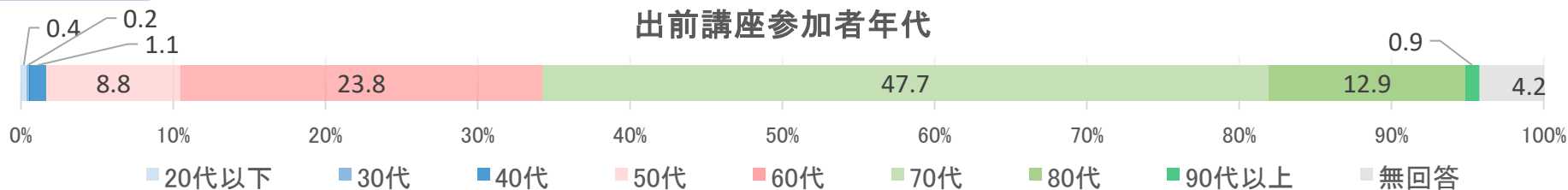
- ・チューリップの花言葉は、「思いやり」「博愛」。県花 約300品種
- ・介護の仕事についての理解の輪がチューリップの花のように県内に広がれば良いとの願いから、介護の魅力を発信する活動を「広がるチューリップ」とした。

○活動の合言葉 CARE

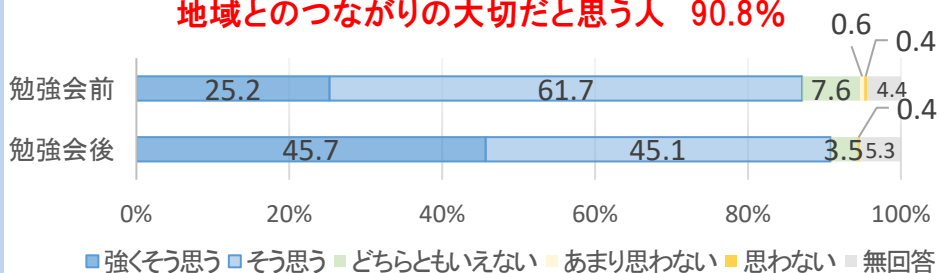
感謝

データ

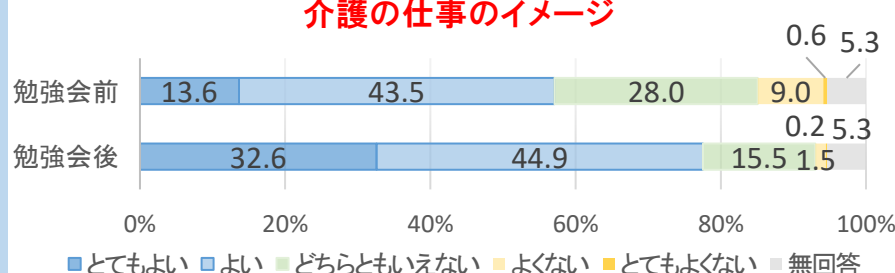
出前講座参加者年代



地域とのつながりの大切だと思う人 90.8%



介護の仕事のイメージ



参加者の感想

ユーザーローカル テキストマイニングツール (<https://textmining.userlocal.jp/>) による分析

1. 健康チェックの重要性

参加者は「健康チェックの各指標が示されているので、大変参考になり、チェック指標として参考としたいです」と述べており、健康状態を確認することの重要性を強調しています。

2. 熱中症対策の必要性

「熱中症に気を付けてもらう様に声掛けしたと思います」との意見から、特に高齢者に対する熱中症対策の重要性が認識されています。

3. 介護のイメージ改善:

参加者は「介護の仕事のイメージは悪くないです」と述べ、介護職に対する理解やイメージを改善する必要性を感じています。

4. 地域貢献の意識

「地域の皆さんがウエルビーイングを実感する日々を過ごせるように努力したい」との意見から、地域社会における高齢者支援の重要性が示されています。

5. 知識の向上と学びの重要性*

「専門知識が不足しているので、今日のように熱中症予防や対応について知る機会は大切だと思った」との意見から、知識を深めることの重要性が強調されています。

全体として、参加者は高齢者の健康管理や介護に関する知識を深めることができ、地域社会での支援の重要性を再認識したことが伺えます。また、介護職のイメージ改善や熱中症対策の必要性についても意見が寄せられています。



Ⅱ ウェルビーイング介護サポーター養成講座

—入門的研修からマッチングまでの一体的支援—

※データ最終確認中のため概数

地域住民等の介護現場への参加促進及び**地域の介護力を向上させること**を目的として、研修の実施から介護現場への導入・定着までの一体的支援を行う

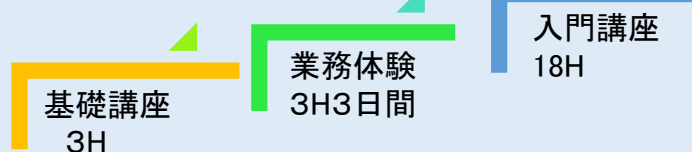
地域の介護職を講師に育成
→持続可能なシステムへ

取組

○入門的研修をステップアップ型とした

特徴

- ①名称をウェルビーイング介護サポーター養成講座
- ②講師：地元の介護事業所職員等
- ③21時間→ステップアップ型、選択式



○基礎講座6コース、入門講座4コース実施

	北	西	大沢野	大山	立山	上市
基礎講座	49	29	15	21	17	5
業務体験	34	10	10	4	6	1
入門講座	38	11	12		4	

○準備

- ①関係機関連絡調整会議 4月28日 30人
- ②業務体験支援事業者研修・打合せ会
5月28日34人 8月21日10人 9月25日12人
- ②入門的研修講師研修・打合せ会
6月16日19人 8月21日18人 9月22日 9人

○事後

- ①修了式・懇談会4会場



- ②フォローアップ
- ③ウェルビーイング介護サポーター(介護助手)交流会



○138人が修了、
97人が就労・ボランティア意向
(希望23人。検討中74人)
12人が就業中

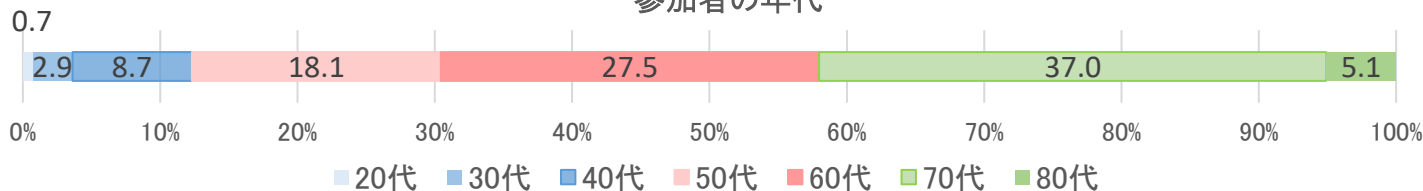
フォロー・分析中



データ

※データは概数

参加者の年代



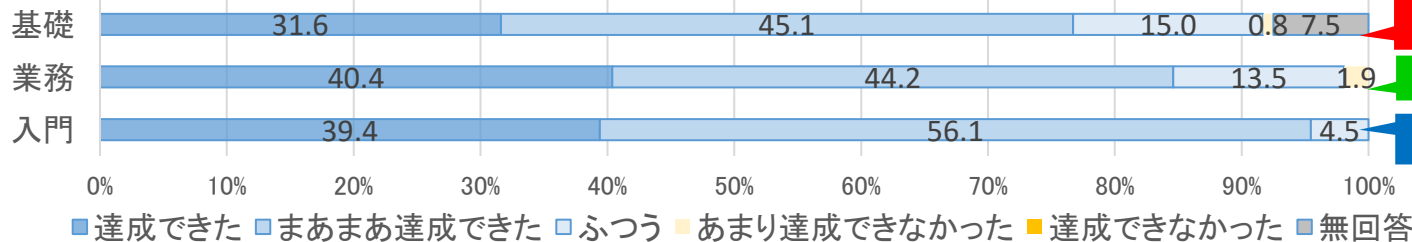
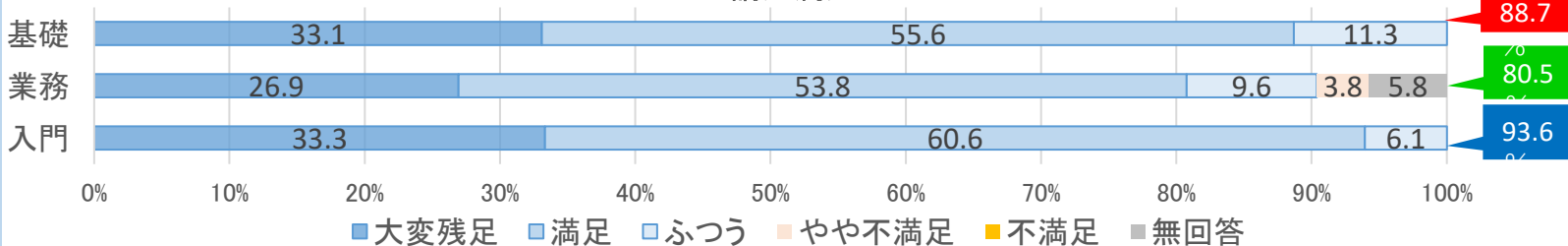
・70歳以上が4割
・受講理由の1位は介護の基礎を学べるから



貢献寿命という言葉に背中が押された気がした



講座満足



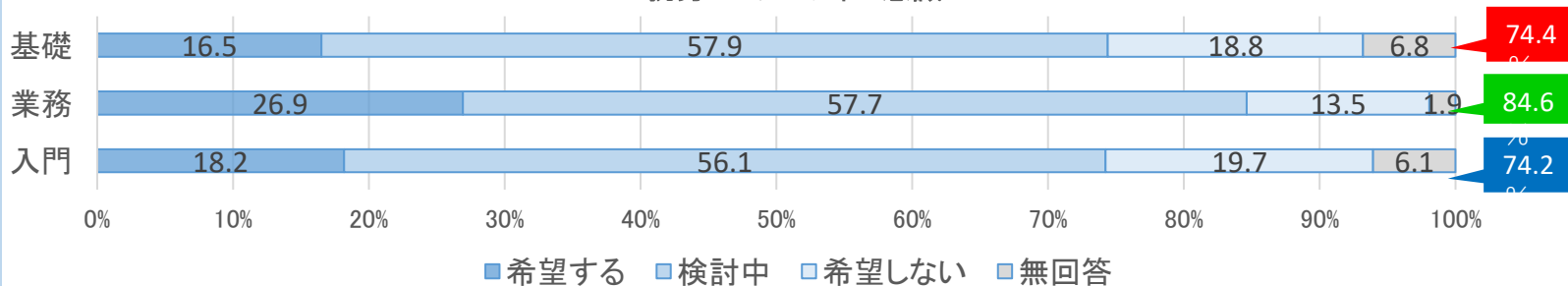
デイサービスの利用者さんとお話が出来た。あとでスタッフの方から認知症の方もいたのよと言われ、びっくりした。認知症を知ろうと思いました。



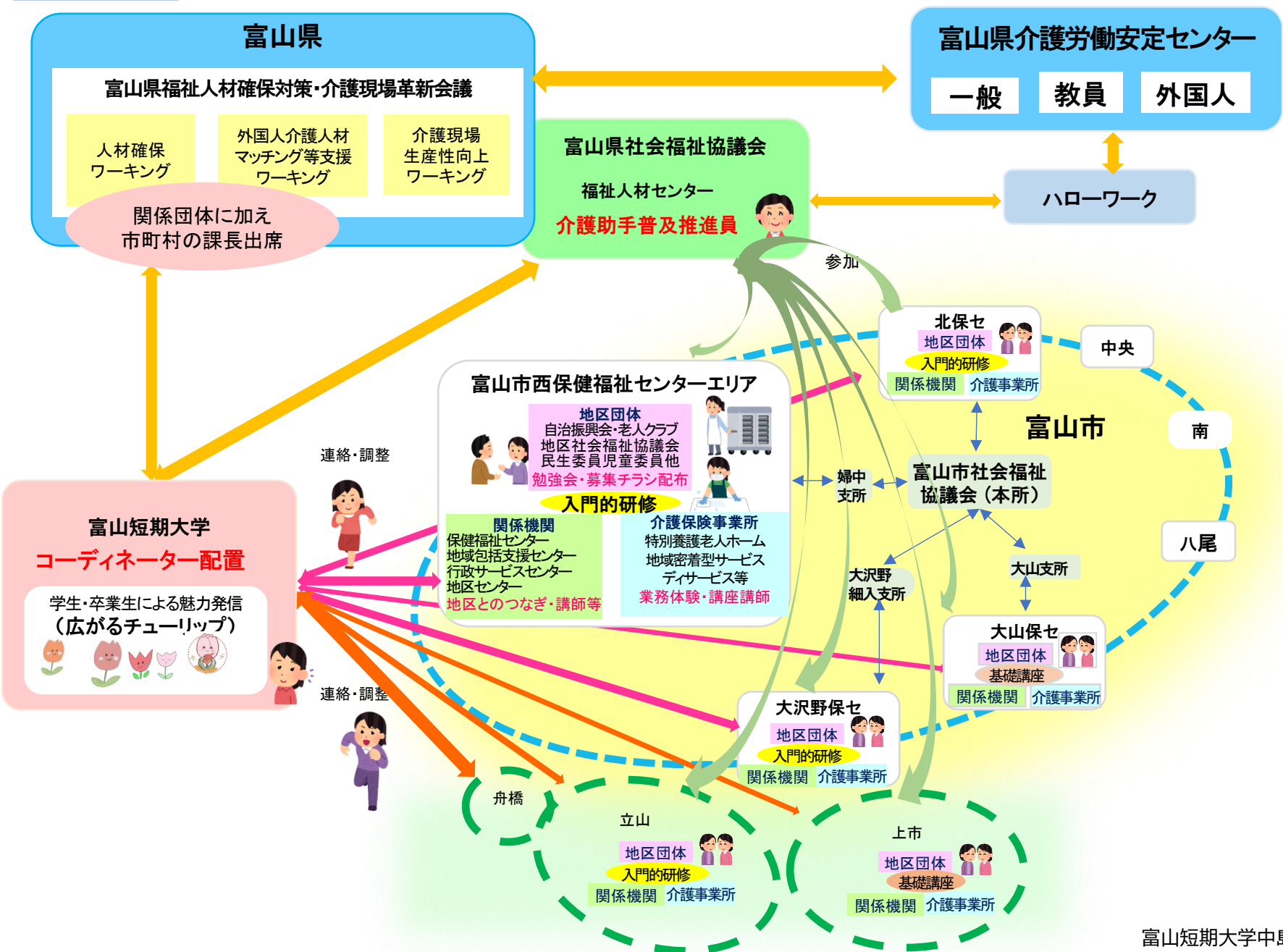
介護補助、周辺業務、アルバイト、ボランティア程度でも働いてみたい。



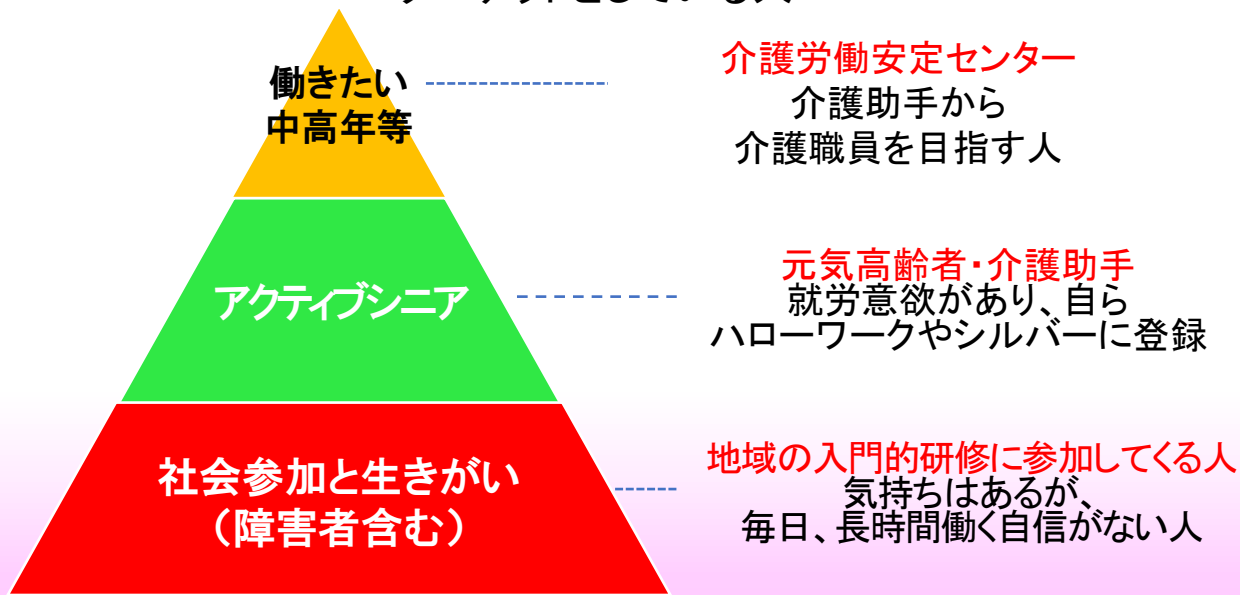
就労・ボランティア意識



実施体制



ターゲットとしている人



今回の特徴

(1) 地域を基盤にしている

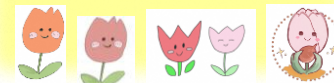
- ①身近な場所での受講可能
- ②身近な施設の介護職員等が講師
- ③身近な施設の介護サービスを業務体験



学生・卒業生による魅力発信
(広がるチューリップ)

(2) 養成校の教育機能を生かした人材育成

- ①地域住民
- ②地域の介護職員
- ③学生及び卒業生



(3) ゴールは温かな地域文化の醸成→持続可能性

- ①正しく知ろう、応援しよう、無理せず参加しよう
- ②応援団、ボランティア、介護助手、介護職
- ③社会参加と生きがいを大切に
貢献寿命とウェルビーイング

